

大阪大学グローバル COE 「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」
「シオニズムの考古学：現代ユダヤ社会におけるディアスポラとイスラエルの相克」
第一回公開シンポジウム

ポスト・シオニズムかネオ・シオニズムか？

—ユダヤ”民主”国家イスラエルの虚像と実像—

【日時】2009年3月14日（土）14：30 から 18：00

【場所】大阪大学大学院人間科学研究科（吹田キャンパス）東館1階105教室（参加無料）

【報告】

- ① 「ポスト・シオニズムの担い手、「新しい歴史学」の現在」
金城美幸（立命館大学）
- ② 「アラビア語と「ネイティブ」の位置づけからシオニズムを考える」
田浪亜央江（国際交流基金）
- ③ 「Ephraim Nimni 編『ポスト・シオニズムの挑戦』を読む」
奥山真知（常磐大学）

【ディスカッサント】

早尾貴紀（東京大学）、白杵陽（日本女子大学）

【参加者プロフィール】

- 金城美幸（きんじょう みゆき）：立命館大学先端総合学術研究科一貫制博士課程（日本学術振興会特別研究員）。パレスチナ／イスラエル研究。主な業績：「イスラエルにおける歴史記述とパレスチナ難民問題——ベニー・モリスの歴史記述を中心に」（立命館大学先端総合学術研究科紀要『Core Ethics』Vol.3、2007）、「パレスチナ／イスラエルの「1948年」論争」（同紀要 Vol.4、2008）
- 田浪亜央江（たなみ あおえ）：国際交流基金中東専門員、横浜国立大学非常勤講師。パレスチナ／イスラエル研究。主な業績：『<不在者>たちのイスラエル 占領文化とパレスチナ』（インパクト出版会、2008）、共著『対テロ戦争と現代世界』（御茶の水書房、2006）
- 奥山真知（おくやま まち）：常磐大学教授。社会学、現代イスラエル研究。主な業績：『イスラエルの政治文化とシチズンシップ』（東信堂、2002）、共編書『階層・移動と社会文化変容』（文化書房博文社、2005）
- 早尾貴紀（はやお たかのり）：東京大学 COE 「共生のための国際哲学教育研究センター」研究員、東京経済大学非常勤講師など。社会思想史研究。主な業績：『ユダヤとイスラエルのあいだ——民族／国民のアポリア』（青土社、2008）、ジョナサン&ダニエル・ボヤーリン『ディアスポラのカ——ユダヤ文化の今日性をめぐる試論』赤尾光春との共訳（平凡社、2008）
- 白杵陽（うすき あきら）：日本女子大学文学部史学科教授。国際関係論・中東地域研究。主な業績：『世界化するパレスチナ／イスラエル紛争』（岩波書店、2004）、『見えざるユダヤ人—イスラエルの<東洋>』（平凡社、1998）

【お問い合わせ先】

大阪大学大学院人間科学研究科グローバル COE 事務局

E-mail: globalra@hus.osaka-u.ac.jp

電話：06-6879-4046、06-6879-8085